



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 10 月 3 日(土)・10 月 9 日(金)  
上町行事、いろいろありました 編

●10 月 3 日(土) サンピノ祭に参加して

当日は朝からどしゃ降り大雨、最悪の天気、どうしようか……。幸いサンピノの屋根つきの屋上に荷物を運びました。晴れる頃、大勢のお客様が見えて、あまり出来の良くない無農薬野菜、ホーレン草は飛ぶように売れました。また、十五夜とあって大輪のケイトウを買ってくれました。

隣の鶴形そばも大繁盛です。常盤ときめき隊の「みそたんぼ」はとてもおいしく、3本ペロリと食べ最高に楽しく、私にとっても色々な行事に参加出来てとても勉強になりました。私の作った野菜が売れるなんて最高の幸せです。これからも宜しくね。いつもすみれ会の世話になっております。

昼から稲刈り、12時半までに帰って来いと云われ、サンピノ祭の踊り等を見られなくて残念でした。帰り時、荷物等、皆さんに助けられ、運んでいただきました。有難うございました。朝の大雨がうその様に晴れ上がり最高の1日となりました。入所しておられる方や職員様共に交流出来て、ときめき隊の1員としてとても感動、感謝しております。

文：佐々木 チヨ

●10 月 9 日(金) 「上町九番観音堂」札所のお祭り行事

今から7年前、上町自治会女性部「上町すみれ会」が活動を始めたのは観音堂の行事継承からでした。それまで数十年に渡り守ってこられた方々の高齢化に伴ってのことでしたが、入ったこともないお堂の存在は、夏祭り(丁山)役七夕、自治会役員(男性)が使用する所というイメージしかなく、女性たちの活動起点になるとは想ってもみませんでした。5月2日、9月2日の札打ちとこの祭典の3行事があり、今年はこの茶話会から生まれたものです。

この観音堂巡礼は能代市で300年近く続いている33番観音札所めぐりのことで、江戸時代に御指南町の足軽、三浦七五郎が桧山川で神の使者であるイルカをなぐり殺したところ、周辺で凶事が勃発。その霊を慰めるため寺で仏弟子となり、33体の観音像を町内や近隣に安置し西国の札所巡りをまねて巡礼するようになったと言われてます。上町も、きっと観音様が見守ってくれることでしょう。南無観世音……。

文：能登 祐子



上町ではすっかり馴染みとなった常盤ときめき隊の緑のエプロンと面々。みそたんぼに焼き鳥、野菜も好評です。



お隣の鶴形そばでちょっと休憩。



いつもはにぎやかなすみれ会も、お堂の中ではみな神妙な面持ちです。